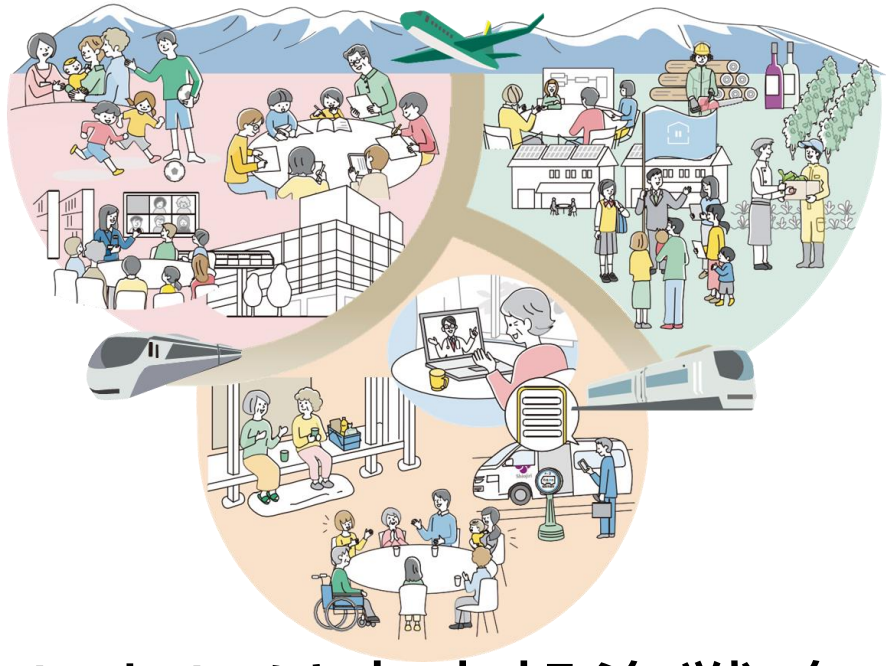
多彩な暮らし、叶えるまち。
－田園都市しおじり－

市民幸福度分析

「市民幸福度」を指標に、よりよい政策を目指す



しおじり未来投資戦略

第六次塩尻市総合計画

塩尻市

令和7年3月

目　　的

第六次塩尻市総合計画は、市民の幸せを政策の成果として市民が実感できるよう、「市民幸福度」を新たな指標として設定しました。この指標を通じて、従来の人口などの数値では捉えにくい「幸せ」の部分も政策の成果として見える化し、市民一人ひとりの生活をより豊かにすることを目指しています。

しかし、「市民幸福度」は人それぞれで感じ方が異なる複雑な指標です。そのため、この幸福度がどのような要因で形成され、市の政策がどのように関わっているのかを明らかにするためのデータ分析を行いました。この分析によって、政策のどこを強化すれば市民の幸せがさらに向上するのかをデータで示し、より効果的な政策を実現していきます。

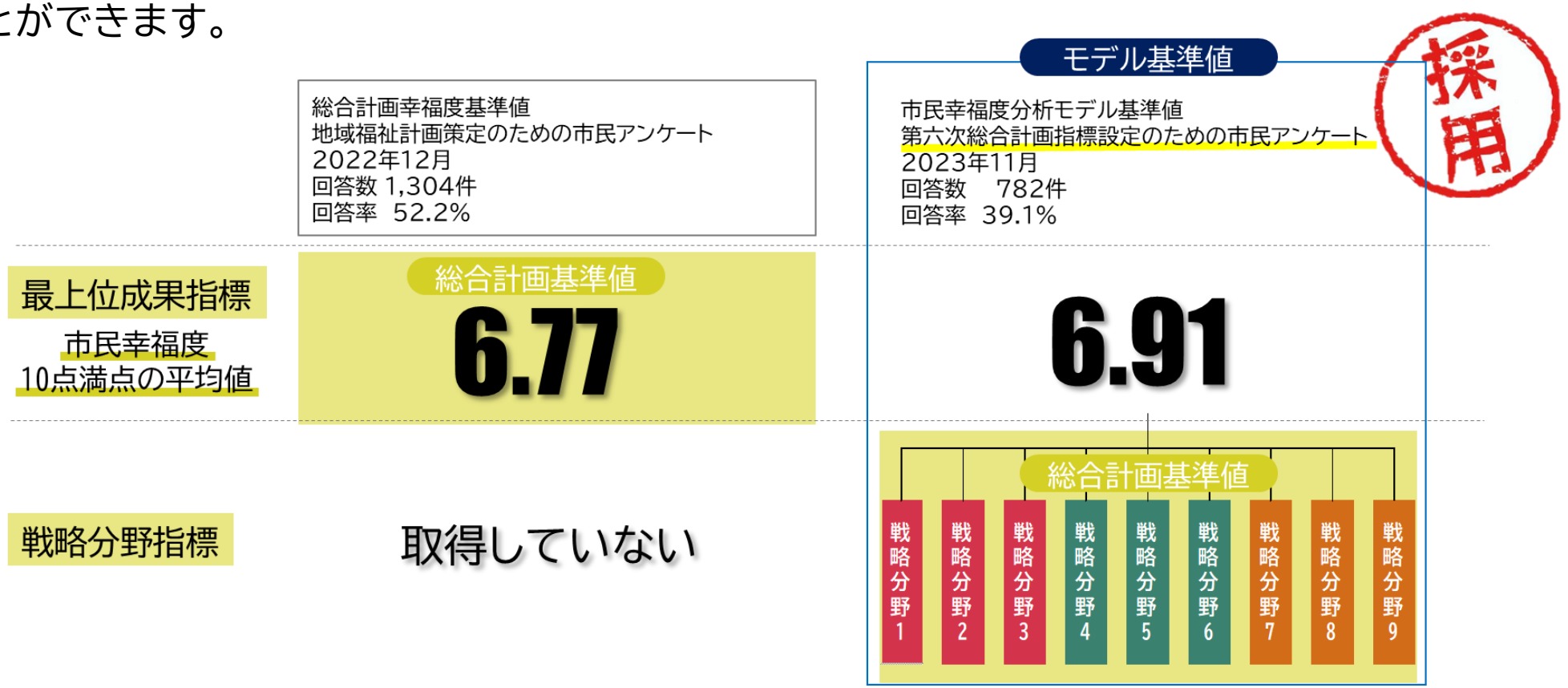
目　　次

第１章　分析に使用するモデル基準値について……2
　　幸福度と幸福度指標に関する統計分析……3
第２章　どのように幸福度と幸福度指標を分析するのか……4
　　分析①-1　市民幸福度モデル分析による結果……5
　　分析①-2　分析結果を踏まえて……6
　　分析②-1　政策が市民の幸福度に与える変化……7
　　分析②-2　実現に向けた政策を確実に推進……8
第３章　今後の分析課題……9
参考資料　補足資料1　市民幸福度の重回帰分析の懸念点と考え方……10
　　補足資料2　戦略指標の幸福度指標目標値のシミュレーション平均値について……11
　　補足資料3　幸福度分析データセット　モデル基準値・予測値……12

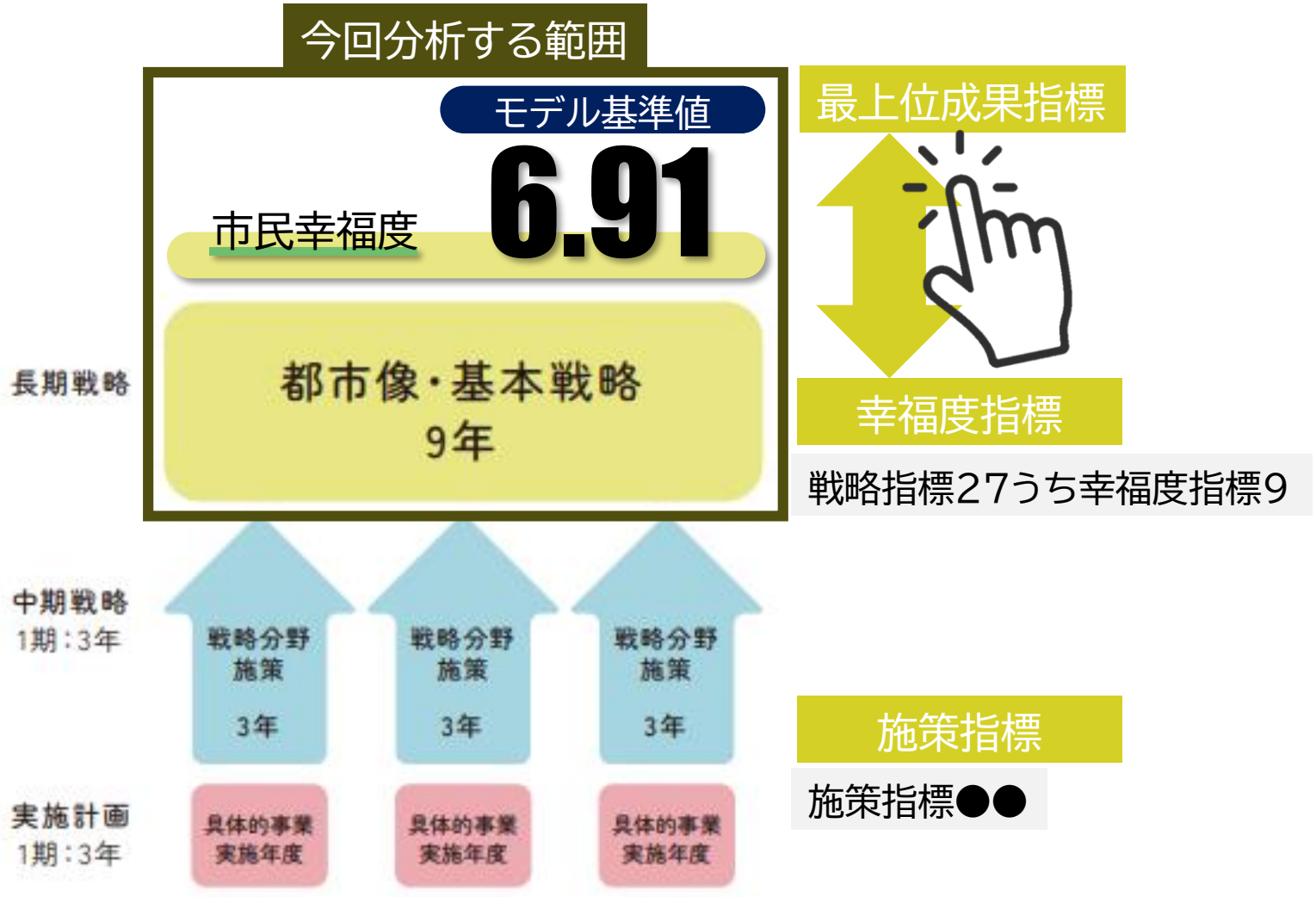
第六次総合計画では、市民がどの程度幸せと感じているかを測定するため、2022年の地域福祉計画市民アンケートの結果を基に、市民幸福度の平均値「6.77」を基準値として設定しました。

一方で、今回の幸福度分析では、「市民幸福度」が政策とどのように関係し、どの施策が幸福感に影響を与えているかを明らかにする必要があります。そのため、2023年に実施した市民アンケートの結果から、幸福度だけでなく「子育て」「教育環境」「文化・芸術」などの複数の政策指標を加味したデータセットを使用し、6.91という「モデル基準値（分析用の基準値）」を使用しました。

このモデル基準値を使うことで、政策が市民の幸福感に与える影響をデータで示し、効果的な施策設計に役立てることができます。



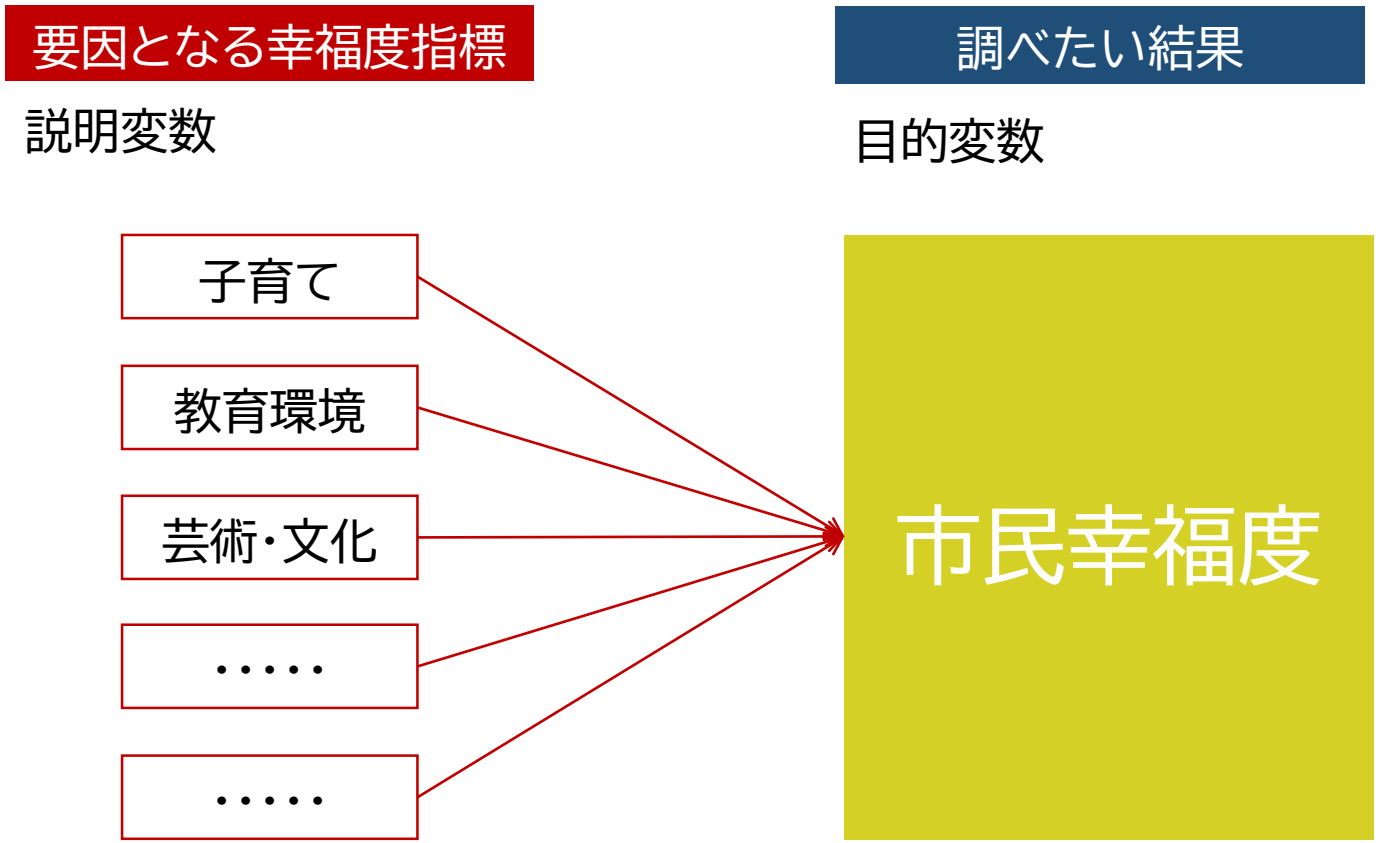
第六次塩尻市総合計画は、長期戦略、中期戦略、実施計画の3層構造となっています。
今回の分析は、長期戦略に掲げる最上位成果指標の「幸福度」と同戦略の基本戦略指標のうち、「幸福度指標」が統計的にどのように関係し、戦略分野ごとの「ありたい姿」が実現されると幸福度へどのように影響するのか分析しました。



長期戦略	今後20～30年の社会変化を見据えた上で、次の9年間で市民、企業等とともに目指す都市像の実現に向けて、優先的に取り組むべき分野や、そのありたい姿を定める、市政の基調となるもの
中期戦略	長期戦略に基づき、3年間を1期として、目標や目標に至るための課題、方策を定めるもの
実施計画	中期戦略に基づき、各年度に実施する具体的な取組、実施時期、内容等を示すもの

市民の幸福度と政策の評価指標がどのように関係しているかを明らかにするため、「重回帰分析」という統計手法を用いました。この分析では、「子育て」「教育環境」「文化・芸術」など、指標が幸福度にどのくらい影響しているかをデータをもとに数値化し、それぞれの影響力の構成を調べることができます。

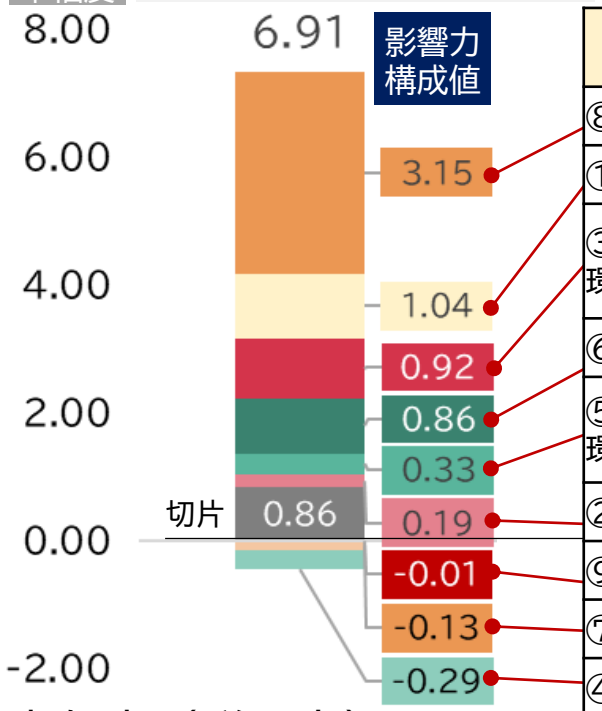
例えば、この分析によって「子育て環境の改善が市民の幸福感にどれだけ寄与するのか」といった具体的な結果を得ることができます。こうしたデータを基に、政策が市民の幸せにどのような影響を与えるかをより詳しく検討します。



今回の分析で、市民幸福度に影響を与える要因を調べたところ、最も影響力が高かったのは「自分のことを好ましく思う」（影響値3.15）で、次いで「子どもたちがいきいき暮らせる」（影響値1.04）という結果が得られました。市民が自分自身を肯定的に捉えたり、子どもたちが安心して暮らせる環境が整っていると感じるなど自分自身や身近な人に対する満足度が幸福感を高めていることがわかります。

また、市民幸福度に対する9つの政策分野の寄与率は27.56%となっており、これは、個人的な要因や社会的な背景など複雑な要因から影響を受けるとされる市民幸福度に対して、政策が影響を与えていることを示しています。

9つの戦略指標の分析



寄与率（説明力）27.56%

戦略分野番号と幸福度指標（2023年度）	幸福度 指標数値
⑧自分のことを好ましく感じる	47.9%
①子どもたちがいきいきと暮らせる	61.2%
③将来生まれてくる世代のために、良い文化や環境を残したい	81.9%
⑥地域のことを真剣に考えている	43.3%
⑤リサイクルや再生可能エネルギー活用など、環境への取り組みが盛んである	49.9%
②教育環境が整っている	61.4%
⑨防災対策がしっかりしている	48.2%
⑦地域の人が困っていたら手助けをする	70.4%
④新たな事に挑戦・成長するための機会がある	27.4%

※幸福度指標数値…当てはまる・やや当てはまるの割合

幸福度にプラスの影響

幸福度に寄与している指標として、総合計画の取り組みにより、幸福度が高まる

マイナスの影響

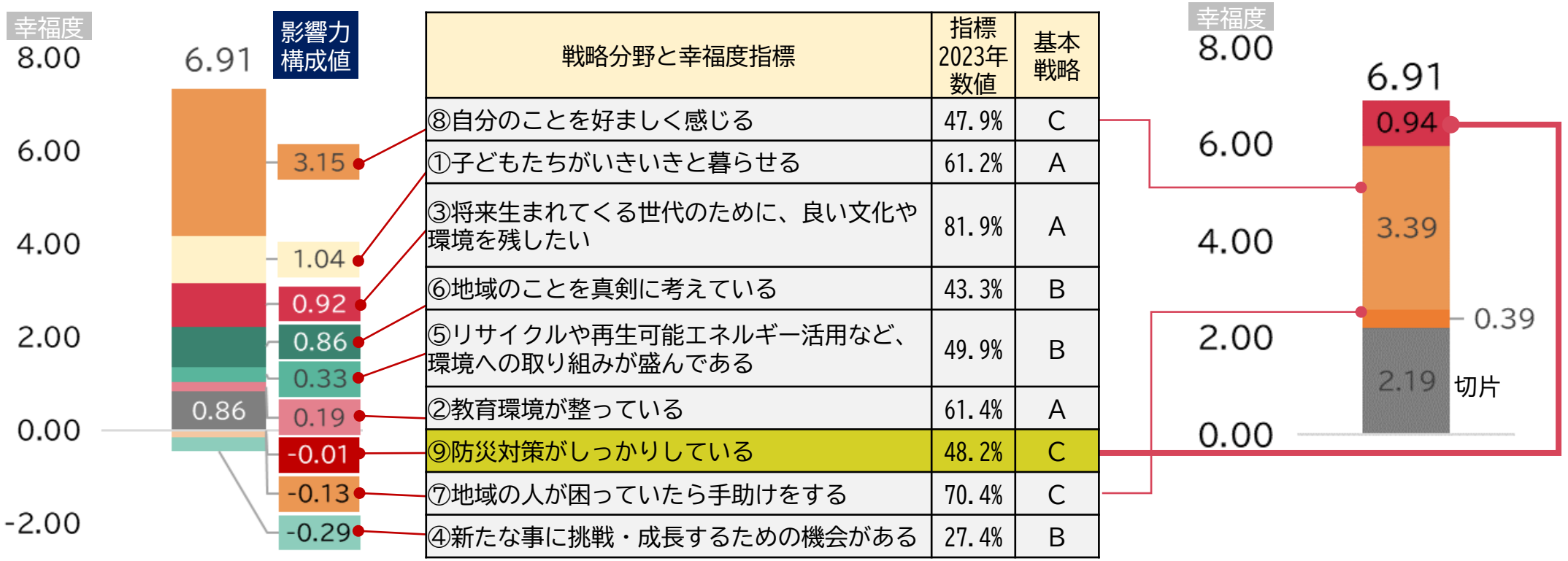
現段階では、幸福度にして統計的に阻害すると一見見えるが、基本戦略単位で分析するとプラスに影響することを確認できている

市民幸福度：モデル平均値　6.91=⑧3.15+①1.04+③0.92+⑥0.86+⑤0.33+②0.19+⑨△0.01+⑦△0.13+④△0.29+切片0.86
切片とは、重回帰分析におけるx軸が0のときのｙの値を指し、説明変数すべてが0のときの数値

分析の結果、一部の指標では現段階で「統計的に幸福度を下げる影響がある」とされるケースも確認されました。例えば、防災対策に関する指標が現時点でマイナスの影響を示す結果となっています。しかし、これは「詳細な分析」により、政策を適切に進めることで長期的には幸福度にプラスの影響を与える可能性が高いことが確認できます。

このように結果の活用には、政策の影響を多面的に検証を行いながら活用する必要があります。

9つの戦略指標の分析



戦略分野と幸福度指標	指標2023年数値	基本戦略
⑧自分のことを好ましく感じる	47.9%	C
①子どもたちがいきいきと暮らせる	61.2%	A
③将来生まれてくる世代のために、良い文化や環境を残したい	81.9%	A
⑥地域のことを真剣に考えている	43.3%	B
⑤リサイクルや再生可能エネルギー活用など、環境への取り組みが盛んである	49.9%	B
②教育環境が整っている	61.4%	A
⑨防災対策がしっかりしている	48.2%	C
⑦地域の人が困っていたら手助けをする	70.4%	C
④新たな事に挑戦・成長するための機会がある	27.4%	B

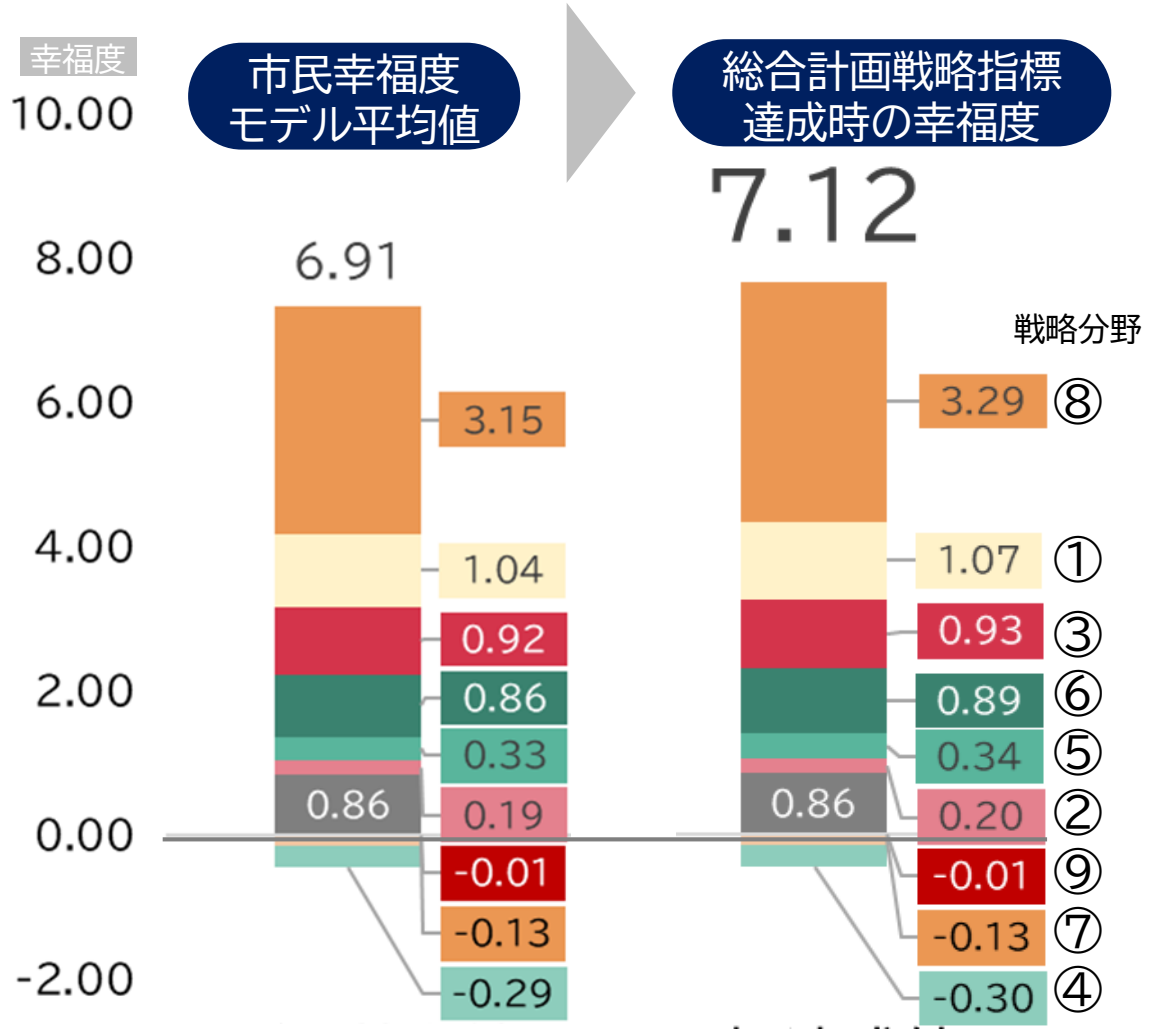
【詳細分析】基本戦略Cのみ指標の分析

「防災対策」は、９つの戦略指標の分析の影響力は、マイナス影響となる-0.01であったが、基本戦略Cのみの指標で詳細分析すると+0.94というプラス影響の結果となる

政策で目指している目標が達成された場合（目標値：現状値＋10ポイント上昇を目指す）、市民全体の幸福度は現在の「6.91」から「7.12」へと上昇することが予測されました。この結果は、政策の取り組みが市民の暮らしや幸福感に具体的な効果をもたらす可能性を示しています。

幸福度指標の現状値と目標値

戦略分野	指標名	現状値	目標値
①	子どもたちがいきいき暮らせると思う市民の割合	61.2%	71.2%
②	教育環境（小中高校）が整っていると思う市民の割合	61.4%	71.4%
③	将来生まれてくる世代のために良い文化や環境を残したいと思う市民の割合	81.9%	増加
④	新たなことに挑戦・成長するための機会があると思う市民の割合	27.4%	37.4%
⑤	リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んであると思う市民の割合	49.9%	59.9%
⑥	市は地域のことを真剣に考えていると思う市民の割合	43.3%	53.3%
⑦	地域の人が困っていたら手助けしたいと考える市民の割合	70.4%	増加
⑧	自分のことを好ましく感じる市民の割合	47.9%	57.9%
⑨	防災対策がしっかりしていると思う市民の割合	48.2%	58.2%



最上位成果指標

市民幸福度
10点満点の平均値

モデル基準値
6.77（総合計画基準値）
6.91

7.12
戦略分野指標の目標を達成した場合の幸福度

目指す都市像
多彩な暮らし、叶えるまち。
-田園都市しおじり-

戦略分野1
子どもたちがいきいきと暮らせるまちだと思う市民の割合
基準値 61.2% → 目標値 71.2%
一人ひとりや家族の多様性についての理解のもと、家庭環境によらず子どもと家族が応援され、安心して暮らせるまち

戦略分野2
教育環境（小中高校）が整っていると思う市民の割合
基準値 61.4% → 目標値 71.4%
子どもたちがワクワクする学びを自ら発見できるとともに、友人や関わる人たちと共感でき、「塩尻に帰ってきたい」と思う体験ができるまち

戦略分野3
将来生まれてくる世代のために良い文化や環境を残したいと思う市民の割合
基準値 81.9% → 目標値 増加
一人ひとりが日常を離れ好きな活動で自身と次世代の笑顔あふれる豊かな生活をつくり、このことが新たなつながりを生んでいるまち

戦略分野4
新たなことに挑戦・成長するための機会があると思う市民の割合
基準値 27.4% → 目標値 37.4%
塩尻に魅力と価値を見出す人たちがつながり、喜びと誇りを持ちながら働き、多様で付加価値の高い事業・商品・サービスを支えているまち

戦略分野5
リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んであると思う市民の割合
基準値 49.9% → 目標値 59.9%
生活や経済活動で、エネルギーをはじめ調達可能な資源が活用されて生活の充実や楽しみになっているまち

戦略分野6
市は地域のことを真剣に考えていると思う市民の割合
基準値 43.3% → 目標値 53.3%
市民と行政がともに「自分事」ではじめる取組が、多様な人材や組織を引きつけ、共創が加速しているまち

戦略分野7
地域の人が困っていたら手助けしたいと考える市民の割合
基準値 70.4% → 目標値 増加
ゆるやかなつながりと、感謝が循環する「お互い様文化」で、暮らしを支え合い、困りごとの解決に寄り添えるまち

戦略分野8
自分のことを好ましく感じる市民の割合
基準値 47.9% → 目標値 57.9%
一人ひとりが健康や老い、障がいなどそれぞれの特性と向き合いながら、自らの健康を守ることや周りに対してできることを考えた活動によって、日常生活を自立して送ることができるまち

戦略分野9
防災対策がしっかりしていると思う市民の割合
基準値 48.2% → 目標値 58.2%
安定した都市インフラの上で、まちで活動したくなる仕掛けが充実するとともに、災害等から生活を守り、いち早く日常を取り戻す備えができているまち

1　詳細なデータ分析の実施

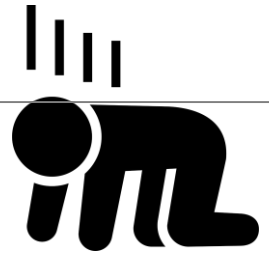
現在の分析を基に、サンプル数を増やし、性別、年代別、地区別などの細分化した詳細な分析を行うことで、より精度の高い結果を得ることができます。これにより、市民が何をどのように感じているのか、どの要因が幸福度に強く影響しているのかを深く理解でき、特定の年代や地区で幸福度に差がある場合、その差を埋めるためのターゲットを絞った施策の検討につなげていきます。

2　データ蓄積と政策活用

市民幸福度に関連するデータを蓄積するためには、少なくとも3年以上のデータを集めることが必要です。このデータを基に、令和8年度の第二期中期戦略策定時期に施策指標を検討し、政策効果を高めることを目指します。重回帰分析を活用して複数の要因が市民幸福度に与える影響を理解し、それに基づいて政策を設計することは、市民が実感できる根拠に基づいた政策立案につなげていきます。

重回帰分析を用いた幸福度と戦略指標の関係性・影響力の説明には次のような懸念点があり、塩尻市としてどのように考えるか補足説明します。

重回帰分析の懸念点	塩尻市の考え方
目的変数（従属変数）と説明変数（独立変数）との関係が弱い。 決定係数　27.56%　重回帰分析では50%程度必要であると言われる。	関係がない訳ではない。 幸福度は非常に複雑で、要因となる説明変数を調整したものを比較し、確かさを高めて分析する
説明変数の指標が不十分または不適切である可能性がある。	幸福度に影響を与える要因は無限に存在し、そのすべてをモデルに組み込むことが難しい。過学習を考慮しながら、考えられる要因を分析する
目的変数が非線形または複雑な構造を持つ場合、重回帰分析の線形モデルに適さないのではないか。	非線形モデルに対応する分析も今後研究していく



幸福度と幸福度指標を分析し、その関係性を考慮したうえで総合的に予測される成果を基に判断する。

総合計画の幸福度指標の基準値・目標値は、「当てはまる」「やや当てはまる」の割合を使用しているため、重回帰分析を行うには、選択項目を数値化にする必要があり、「当てはまる」を5、「やや当てはまる」を4、「どちらともいえない」を3、「あまり当てはまらない」を2、「当てはまらない」を1として、平均値を基準値・目標値として使用しています。

よって、目標値は推測統計になるため、「当てはまる」「やや当てはまる」の合計値のみが判断できるが、個別の割合は算出できませんが、「当てはまる」「やや当てはまる」と「どちらともいえない」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の2群に分け、基準値の構成比を配分ベースにし、目標値に対して按分して重回帰分析で使用するシミュレーション平均値の算出を行いました。

目標値をシミュレーション平均値化への考え方（算定表）

目標値実績按分補正平均値の算出について

	目標値補正のための按分比率					回答者数					目標値実績按分補正後							実績値	実績値	目標値変換					抽出推計から算出する全市民変容人数（推計）	ポイント増加数
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5+4	2+1								
	どちらともいえない	あまり当てはまらない	どちらともいえない	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	非常に+ある程度	あまり+まったく	シリアル化平均値	現状値	目標値実績按分補正平均値	目標値	現状値の実数 5+4	目標値までの必要数 5+4	補正数		
現在、あなたは、どの程度幸せですか。【幸福度】	肯定評価グループ回答比率		中間・否定評価グループ回答比率								%	%	%	%	%	%	%		%		%				
(1) 塩尻市は、子どもたちが いきいきと暮らせ	0.12	0.88	0.84	0.14	0.03	64	478	184	30	6	8.4	62.8	24.2	3.9	0.8	71.2	4.7	3.61	61.2	3.74	71.2	466	542	76	6,700	10.0
(1) 塩尻市は、教育環境（小中高校）が整ってい	0.13	0.87	0.74	0.23	0.03	70	474	162	50	6	9.2	62.3	21.3	6.5	0.8	71.4	7.3	3.58	61.4	3.73	71.4	468	544	76	6,700	10.0
(5) あなたは、将来生まれてくる世代のために、	0.45	0.55	0.83	0.13	0.04	285	344	115	18	5	37.2	44.8	15.0	2.3	0.6	82.0	3.0	4.15	81.9	4.16	82.0	629	630	1	67	0.1
(1) 塩尻市は、新たな事に挑戦・成長するための	0.13	0.87	0.79	0.17	0.04	37	243	370	81	18	4.9	32.4	49.4	10.8	2.4	37.4	13.2	3.13	27.4	3.27	37.4	205	280	75	6,700	10.0
(1) 塩尻市は、資源リサイクルや再生可能エネ	0.15	0.85	0.80	0.17	0.04	70	388	243	51	11	9.1	50.8	31.9	6.7	1.5	59.9	8.2	3.45	49.9	3.59	59.9	381	457	76	6,700	10.0
(1) 塩尻市は、地域のことを真剣に考えている	0.12	0.88	0.79	0.17	0.04	49	354	279	61	13	6.5	46.8	36.9	8.1	1.7	53.3	9.8	3.35	43.3	3.48	53.3	328	404	76	6,700	10.0
(1) あなたは、地域の人が困っていたら手助け	0.14	0.86	0.82	0.15	0.03	80	492	160	29	6	10.5	64.0	20.9	3.8	0.8	74.5	4.6	3.74	70.4	3.80	74.5	541	572	31	2,718	4.1
(4) あなたは、自分のことを好ましく感じる	0.22	0.78	0.78	0.17	0.05	98	344	251	56	15	12.8	45.1	32.9	7.3	1.9	57.9	9.2	3.45	47.9	3.60	57.9	366	442	76	6,700	10.0
(1) 塩尻市は、防災対策がしっかりしている	0.11	0.89	0.86	0.13	0.01	47	396	275	40	3	6.2	52.0	36.1	5.3	0.4	58.2	5.7	3.46	48.2	3.58	58.2	367	443	76	6,700	10.0

		欠測数	自由度調整済み決定係数：0.267			モデル基準値	モデル予測値
調べたい項目【目的変数】	(1)現在、あなたは、どの程度幸せですか。【幸福度】	12	寄与率（決定係数）：27.56%		a+A+B+C+D+E+F+G+H+I	6.91 ▲	7.12 ▲
		サンプル数	F値：9.9E-49				
欠測値補完方法	平均値代入法	782	目的変数との関係性の有無【p値】	目的変数への影響力【回帰係数】	モデル平均値（無回答除く）	a 切片 0.855	モデル予測シミュレーション
目的変数に影響を与える項目		欠測数				+	
説明変数1	(1)塩尻市は、子どもたちがいきいきと暮らせる	20	0.00 有	① 0.287	❶ 3.61	A 1.04	① × 3.74
説明変数2	(1)塩尻市は、教育環境(小中高校)が整っている	20	0.55 無	② 0.053	❷ 3.58	B 0.19	② × 3.73
説明変数3	(5)あなたは、将来生まれてくる世代のために、良い文化や環境を残したい	13	0.01 有	③ 0.223	❸ 4.16	C 0.92	③ × 4.16
説明変数4	(1)塩尻市は、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	33	0.33 無	④ -0.091	❹ 3.13	D -0.29	④ × 3.27
説明変数5	(1)塩尻市は、資源リサイクルや再生可能エネルギー活用など、環境への取り組	19	0.27 無	⑤ 0.094	❺ 3.45	E 0.33	⑤ × 3.59
説明変数6	(1)塩尻市は、地域のことを真剣に考えている	25	0.01 有	⑥ 0.257	❻ 3.35	F 0.86	⑥ × 3.48
説明変数7	(1)あなたは、地域の人が困っていたら手助けをする	14	0.70 無	⑦ -0.035	❼ 3.74	G -0.13	⑦ × 3.80
説明変数8	(4)あなたは、自分のことを好ましく感じる	18	0.00 有	⑧ 0.913	❽ 3.45	H 3.15	⑧ × 3.60
説明変数9	(1)塩尻市は、防災対策がしっかりしている	20	0.97 無	⑨ -0.003	❾ 3.46	I -0.01	⑨ × 3.58
説明変数10		0					